

2025年 第12週（3月17日～3月23日）の感染症発生動向調査情報

<今週の内容>

- 1 インフルエンザについて
- 2 新型コロナウイルス感染症について
- 3 管内の感染症発生状況（上記2疾患以外のもの）
- 4 県内の感染症発生状況（麻しん）

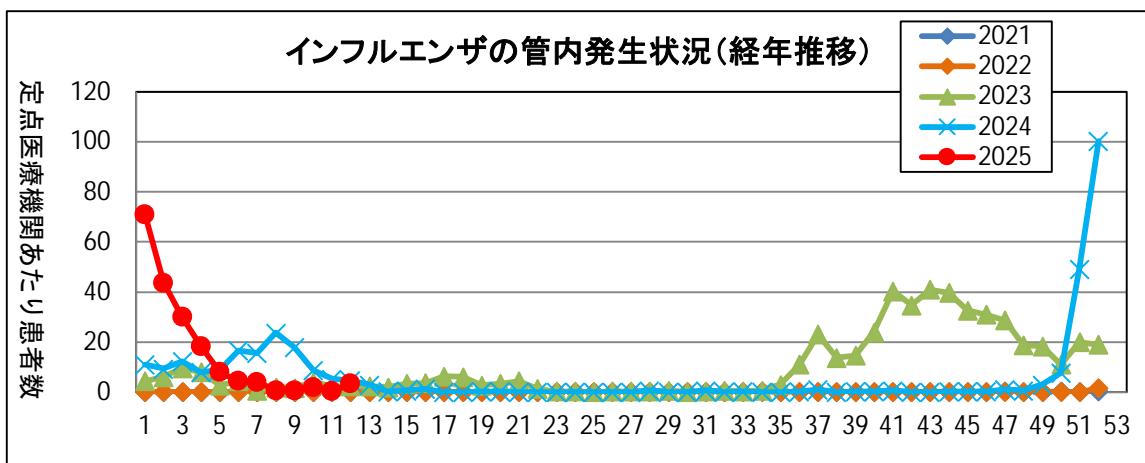
I インフルエンザについて

管内のインフルエンザの定点あたり患者数は、今週3.33人で、先週(0.33人)から増加し、兵庫県内の定点あたり患者数は今週2.05人で、先週(2.38人)から減少しました。

直近の5週間に県内の定点医療機関から報告された患者1,806人の年齢分布では、5～9歳が42%、10～14歳が28%で、15歳未満が全体の84%を占めています。

また、県内の学校等において、今週17件（先週30件）の臨時休業が報告されています。

インフルエンザの予防には、ワクチン接種、手洗いが有効です。また、感染が疑われる場合は、マスクの着用、咳エチケット、早めの受診が重要です。



<感染症に関する情報>

◆兵庫県ホームページ

[インフルエンザ疾患の発生状況\(学級閉鎖・集団発生\)](#)

[兵庫県インフルエンザ情報センター](#)

◆国立感染症研究所ホームページ

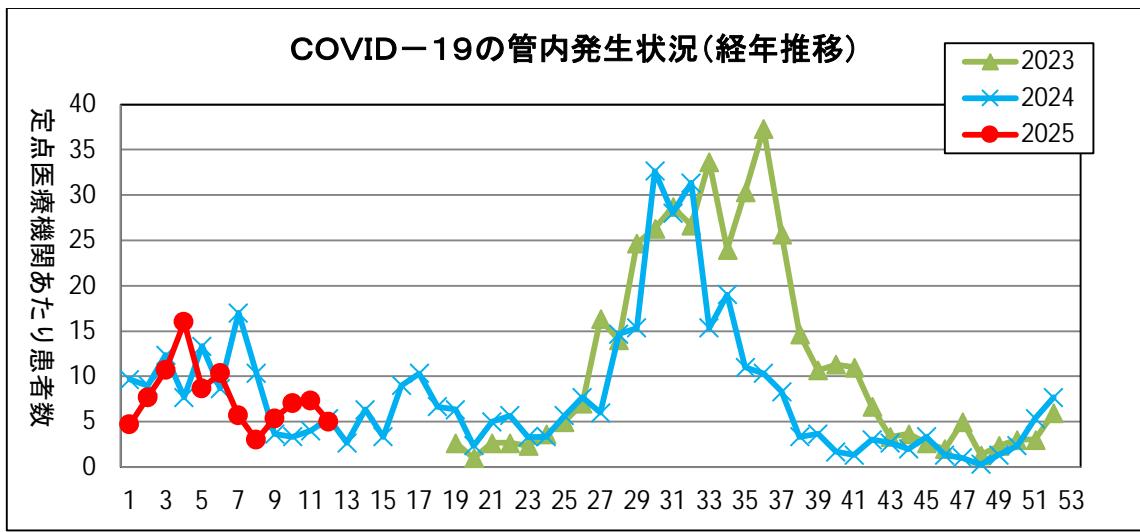
[インフルエンザ](#)

2 新型コロナウイルス感染症について

管内では、定点あたり報告数は今週5.00人（先週7.33人）で先週から減少し、兵庫県内の定点あたり報告数も今週2.08人（先週2.52人）となり、先週から減少しました。地域別では、福崎保健所管内が6.50人と最も多く、当所管内5.00人、赤穂保健所管内4.00人となっており、年齢別では、10歳代及び80歳以上が12%と最も多く、次いで40歳代が11%となっています。

また、県内の社会福祉施設等においては、今週8件（先週4件）の集団発生が報告されています。

県民の皆様には引き続き3密の回避、手指消毒、効果的な換気、マスクの適切な着用といった基本的な感染症対策をお願いします。



注) 2023年5月8日から新型コロナウイルス感染症は定点把握になりました。

<感染症に関する情報>

◆兵庫県ホームページ

[新型コロナウイルス感染症\(COVID-19\)に関する情報](#)

[兵庫県感染症情報センター](#)

◆厚生労働省ホームページ

[新型コロナウイルス感染症について](#)

◆国立感染症研究所ホームページ

[新型コロナウイルス\(COVID-19\)関連情報ページ](#)

3 管内の感染症発生状況(新型コロナ以外のもの)

(1) 管内の全数把握感染症(すべての医療機関から報告を求める感染症)

第12週は、報告がありませんでした。

(2) 定点把握感染症(指定された医療機関から報告を求める感染症)

(2025年12週)※定当: 定点当たり患者数

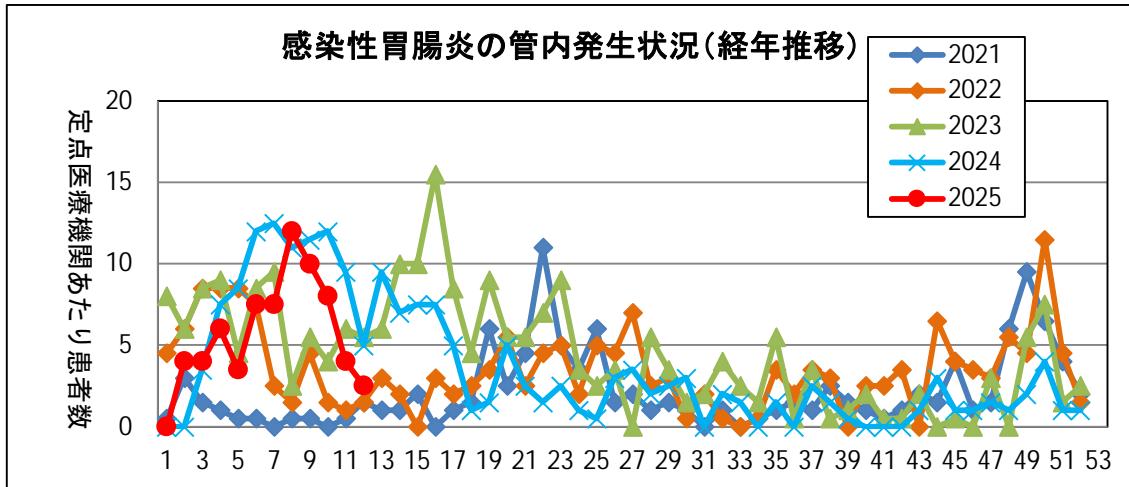
インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		COVID-19	
報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当
10	3.33	-	-	-	-	-	-	5	2.5	-	-	-	-	-	-	1	0.5	15	5

ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性瞼膜炎		無菌性瞼膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

管内では、感染性胃腸炎の定点あたり患者数が2.50人で、先週(4.00人)から減少し、兵庫県でも10.92人で、先週(12.50人)から減少しました。

また、県内の社会福祉施設等においては、当所管内分1件を含め、今週7件(先週8件)の集団発生が報告されています。

トイレの後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗うようにしてください。また、便や嘔吐物を処理する際は、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、処理後は石けんと流水で十分に手を洗ってください。カキなどの二枚貝を調理する際は、中心部まで十分に加熱してください。



<感染症に関する情報>

◆[兵庫県ホームページ](#)

[感染性胃腸炎\(ノロウイルス等\)について](#)

◆[国立感染症研究所ホームページ](#)

[感染性胃腸炎とは](#)

4 県内の感染症発生状況（麻しん）

県内において今週2人（姫路市、龍野保健所管内）の麻しんの報告がありました。麻しんウイルスは極めて感染力が強く、約10～12日の潜伏期間を経て発症します。麻しんが疑われる場合は外出を控え、医療機関に事前に連絡してから受診してください。感染予防対策として、麻しん含有ワクチンの接種が重要です。また、医療機関の皆様におかれましては、麻しんの疑い例を診察された場合は、最寄りの健康福祉事務所（保健所）へご連絡いただきますようよろしくお願ひいたします。

<感染症に関する情報>

◆[兵庫県ホームページ](#)

[麻しん\(はしか\)について](#)

◆[国立感染症研究所ホームページ](#)

[麻しんとは](#)